

平成30年度学校における働き方改革 モデル校事例『藍住北小学校』の取組

平成30年8月24日 No.1



藍住北小学校

藍住北小学校では、「業務改善（働き方改革）アンケート調査」を実施し、教職員の現状把握を行い、それをもとに業務改善推進委員会を開催し、課題解決に向け取り組んで参ります

【勤務時間について】

- 朝は7時30分には7～8割が出勤している。勤務時間終了後は、2時間以上の時間外勤務者が半数以上いる
- ※午後8時を過ぎて残っている教員も多くいる

【スクール・サポート・スタッフについて】

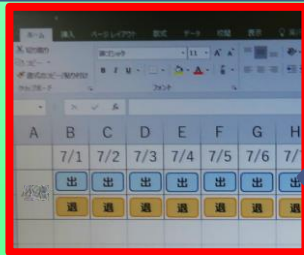
- 配置人数1名
- 週3日勤務（週16時間）
- 8:30～14:30・・・1回
- 8:30～13:30・・・2回

《主な業務内容》

- ◎印刷や物品整理
- ◎教材・資料整理
- ◎学校行事・式典等補助
- ◎データ入力・名簿作成
- ◎配布文書の仕分け
- ◎掲示物の掲示、張替

《教員負担軽減時間》

- ◎1週間の教員勤務時間調査した結果
- 平成29年度から
- 平成30年度では、約9時間の削減時間となっている（6月調べ）



- ◎勤怠管理は、エクセルのマクロで作成したものを計画中
- ◎最終退勤時刻を午後7時ぐらを目途に声かけを行っている
- ◎ノー残業デーの実施（現在は月1回実施予定）
- ◎電話対応は午後7時を目途とする※町内で共通理解

【現在の状況】

アンケートを見ると、持ち帰り残業は、1時間未満の者が約90%であり、比較的少ない結果であった。

【現在の状況】

主に低学年の先生方がよく活用している。頼める仕事が少ない高学年の活用は少ない。活用方法については、今後とも検討を要する。

【業務改善について】

- 1 仕事の段取りがうまくできていないことや仕事の内容が十分理解できていない
- 2 自分の仕事量が多すぎる
- 3 会議時間の削減について
- 4 行事の精選について
- 5 学校集金業務について



《今後の業務改善に向けて》

- 1 交通安全や集団登校などの取組で「段取り」を行うことに負担感があり、業務マニュアルの作成を検討
- 2 校務分掌の見直しを検討
- 3 現在勤務時間を過ぎた会議は、ほとんどない。終礼の回数を見直すことを検討（週2回⇒週1回に）会議数の削減に関しては、グループウェアの導入などを検討
- 4 学年単位の行事が多く外部との調整が必要な行事について負担感が大きいため、今後見直しを検討
- 5 来年度から銀行引き落としに移行し事務職員を中心として業務を行う予定

【保護者・地域との連携】

- ◎ノー残業デー等の実施について、保護者理解を得る方策を今後検討していく
- ◎毎日の交通立哨を含め、集団登校などの取組はPTA主体で行っており、教員は、窓口となって調整を行っている
- ◎PTAの会合は、できる限り短時間で終われるように今後検討する
- ◎外部人材の活用として、ゲストティーチャーとして、総合学習等で実習を伴う活動等の支援をいただいている